

カスタム暗号資産指数



S&P DJIは、暗号資産に関するデータ分析企業であるLukkaと協力し、暗号通貨の動きに連動するカスタム暗号資産指数を構築しています。この暗号資産指数は、当社が提供する最高水準の指数算出技術と、Lukkaの暗号資産に関する専門知識を組み合わせるものであり、投資家の多様なニーズに対応することが可能です。

**S&P Dow Jones
Indices**

A Division of **S&P Global**

成長する暗号資産市場

ブロックチェーンとは、暗号技術を利用して資産の利便性や流動性を高める画期的なテクノロジーです。このような方法で取引される資産は暗号資産と呼ばれており、暗号資産を作り出すプロセスはトークン化などと呼ばれています。ほぼすべての資産はトークン化することが可能であり、ビットコインが11年以上前にトークン化されて以降、数千もの資産がトークン化されています。これと並行して、世界中のイノベーターはブロックチェーン技術を利用して暗号資産を取引する事業を立ち上げています。この技術を利用することで、伝統的な資本市場の範疇に収まらない資産に容易に投資することが可能となります。

ビットコインが誕生して以降、世界の暗号資産市場は大きく成長しており、2020年12月時点で暗号資産の時価総額は6,000億ドル以上に達しています¹。この資産クラスの認知度や信用度が高まるに従い、暗号資産をポートフォリオに組み入れることを検討する投資家も増えています。暗号資産市場は大きく成長していますが、依然として実験的な段階にあるため、投資家はこの資産クラスに特有のリスクを考慮する必要があります。

暗号資産に投資する際のリスク

資産リスク

資産の選択

暗号資産の種類は7,000以上に達しており、リスク・リターン特性も多種多様である。投資家が様々な暗号資産の中から1つの暗号資産を選択する場合、アクティブ・リスクが発生する。

市場リスク

投機的な市場

取引の大半は投機的であるため、暗号資産市場は非常に不安定な動きとなる場合がある。

環境リスク

取引所によってセキュリティのレベルが異なる

暗号資産の取引所は500以上あり、サイバー・セキュリティや投資家保護（保険など）のレベルは取引所によって異なる。2019年には、12の取引所がハッキングの標的となり、合計2億9,200万ドルの資産が盗難にあった²。

デジタル・ウォレット

ほとんどの暗号資産の利用者は、デジタル・ウォレットを使用して資産を保管している。デジタル・ウォレットは、所有者だけが知っているプライベート・キーによってアクセスすることができる。所有者がプライベート・キーを紛失した場合、通常ではウォレットの資産を回収することができない。

標準的なベンチマーク指標がない

伝統的な市場とは異なり、暗号資産市場には、機関投資家が利用できるような標準的なベンチマークが存在しない。

規制環境が十分に整備されていない

従来の資産とは異なり、暗号資産を取り巻く法規制は依然として未整備であり、常に変化している。

サイバー攻撃及び不正取引

2019年には、暗号資産の不正取引及び盗難による損失額は合計45億2,000万ドルに上った³。投資家が講じることのできる法的手段は限られており、盗まれた暗号資産を回収することは困難である。

信頼できるデータ規約が存在しない

暗号資産には、個別に割り当てられる普遍的な識別子が存在せず、様々な取引所において複数の名称/ティックャーで呼ばれている。情報は複数のソースに分散されており、頻繁に変化する。

¹ 出所：「Cryptocurrency Prices, Charts and Market Capitalizations」、コインマーケットキャップ、2020年12月にアクセス。

² 出所：Thompson, Patrick. 「Most Significant Hacks of 2019 – New Record of Twelve in One Year.」 コインテレグラフ、2020年1月5日。

³ 出所：Schlabach, Adam. 「Q4 2019 Cryptocurrency Anti-Money Laundering Report.」 サイファートレース、2020年2月21日。

なぜ暗号指数なのか？

確立された大手の算出機関が、ルールに基づく暗号資産指数を管理していれば、暗号資産は機関投資家に認められる資産クラスとしての地位を確立できるかもしれません。また、代表的なベンチマークを確立することができれば、広範な市場において投機的な動きを抑えることにつながる可能性があります。

機関投資家と個人投資家の両方にとって、暗号資産指数に基づく戦略を活用すれば、この市場へのエクスポージャーを得ると同時に、投資に伴うリスクの一部を軽減できる可能性があります。暗号資産指数を活用することにより、様々な暗号資産へのエクスポージャーを確保し、分散効果を享受することもできます。

すべての暗号資産指数が同じように構築されるわけではない：なぜS&P DJIが選ばれるのか？

S&P DJIは広範な専門知識を活用し、10,000以上のカスタム・ヘッドライン指数を構築・算出しています。当社のカスタム指数のお客様は、カスタム指数を構築する際に：

- 信頼できる当社の算出システム及び価格の情報源を利用し、正確に指数を維持することができます
- 当社のデュー・ディリジェンスの結果を踏まえた上で、データ・プロバイダーを選択することができます
- お客様のニーズに合ったサービスを受けることができます

お客様が望めば、独立性と透明性が確保されている当社のワールド・クラスの指数ガバナンス・インフラにアクセスすることも可能です。

暗号資産指数の課題と、解決への取り組み

指数構築における柔軟性

暗号資産指数の課題

暗号資産市場には、7,000以上の資産と、500以上の取引所が存在しているため、こうした広範な市場を包括的にカバーできる指数プロバイダーは一部に限られている。

通常のプロセスでは、時価総額に基づいて主要な暗号資産の選択・ウェイト設定を行い、毎月リバランスを実施することになるが、これに代わるプロセスを採用したベンチマークは今のところほとんどない。

暗号資産指数の市場では、アイデアを試すための確立されたアプローチが存在しない。

S&P DJIのソリューション

Lukkaは、取引量の多い550以上の暗号資産に関するデータを提供しているため、これに基づいて総合的な指数ユニバースを構築することが可能である。

S&P DJIのカスタム指数構築能力により、お客様は、伝統的なスクリーニング及びウェイト設定スキームとは異なるターゲット戦略を採用することができる。リスクの高い資産クラスでは、例えば、頻繁にリバランスを実施できるオプションが重要となる場合もある。

この市場は比較的新しいため、革新的なデザインや戦略を生み出す機会が豊富にある。当社のカスタムR&Dチームは、お客様の要望に基づいてバックテストや分析ツールを提供しており、指数ルールに関するお客様の判断を支援することができる。

日々の指数

暗号資産指数の課題

多くの暗号資産価格のプロバイダーは、1日の終わりの価格情報を提供する準備が整っていない。

S&P DJIのソリューション

暗号資産には国境がなく、24時間取引されているため、1日の終わりの価格情報を提供することが困難である。Lukka Prime (Lukkaの公正市場価値価格メソドロジー) は、1日の終わりの価格情報を提供しており、報告前に1日全体の取引活動を把握することにより、1分ごとの資産価格の最大限の正確性とデータ・キャプチャーを実現している。S&P DJIは、1日の終わりの価格情報を使用して指数を算出している。

指数のデータ・ソーシング

暗号資産指数の課題

一般に、暗号資産に特化したデータ・プロバイダーが提供するデータのクオリティは低い。

S&P DJIのソリューション

指数構築に必要な信頼性の高いデータ・フィールドを生成することは困難であり、多くのリソースを必要とする。Lukkaは、機関投資家が求める高品質のデータを提供することが可能である。データ・クオリティを高めるため、Lukkaはエコシステムにおける過去の変更（ティッカー・シンボルの変更など）を追跡調査し、取引データを検証し、取引所における矛盾した情報や散在する情報を照合している。

同じ資産であっても、取引プラットフォームにより資産の識別子がそれぞれ異なる。

Lukkaは、Lukkaレファレンス・データを使用し、すべてのプラットフォームにわたり各資産に固有の識別子を割り当てている。

現時点で利用可能なほとんどの暗号資産の価格ソースでは、価格メソドロジーが明確に定義されておらず、透明性が欠如している。

Lukka Primeは、透明性が高く、かつ明文化された価格メソドロジーを採用している。このメソドロジーは、米証券取引委員会 (SEC) の公正価値ルールに記載された公正価値アプローチに基づいている。

不明瞭な取引状況、評判の悪い販売、及び各取引所によって異なる識別子などにより、暗号資産の価格を決定することが困難となっている。

Lukka Primeの価格は、執行された取引データに基づいており、いつでも検証可能である。Lukkaでは、データ・クオリティを包括的にチェックすることにより、価格を監視・維持している。

指数ガバナンス

暗号資産指数の課題

市場における多くの価格プロバイダーは、法規制の遵守が不十分である。

伝統的な指数とは異なり、暗号資産指数の分野では、コンプライアンス原則に関する明確な枠組みが存在しない。

暗号資産市場では、データの一貫性が欠如しており、予想外のイベントが頻繁に発生するため、ルールに基づく暗号資産指数を維持することが困難である。

S&P DJIのソリューション

Lukka Primeは規制とコンプライアンスの基準を高く設定している。Lukkaでは、公正価値の決定に関する米証券取引委員会（SEC）の新たなルールに準拠しており、高い競争優位性を有している。さらに、Lukkaの価格メソドロジーは、執行された取引データに基づくプライマリー市場の公正価値の枠組みを使用しているため、米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）及び国際会計基準審議会（IASB）のガイドラインにも準拠している。Lukkaでは、Lukka Primeの価格を生成する上で使用するすべての価格を記録しており、記録の監査を行い、透明性を高めることに努めている。

S&P DJIは、暗号資産ベンチマークに関する規制が確立されるまでは、証券監督者国際機構（IOSCO）の原則に基づいて暗号資産指数を維持する。規制が制定されれば、S&P DJIは当社の能力や法律の専門知識を駆使して環境の変化に迅速に対応する。

カスタム指数のお客様は、S&P DJIのベンチマーク管理サービスに加入することにより、当社の専門知識を活用して指数のガバナンス及び監視を行うことが可能となる。このサービスに加入することで、お客様は健全なメソドロジーを設計できだけでなく、当社の指数委員会の経験や専門知識の恩恵を受けることができる。指数委員会は、指数が目的に沿って運用されるように、継続的に指数を監視している。

当社のカスタム指数サービスに関する詳しい情報については、
www.spglobal.com/spdji/jp/custom-indices/solutions/を参照ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500®及びダウ・ジョーンズ工業株平均®といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが1884年に初めて指数を発明して以降、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なアセット・クラスをカバーする指数を開発しており、これにより投資家が市場を測定し、売買する方法を定義することが可能となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI) のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spglobal.com/spdjiをご覧ください。

お問い合わせ先

米国	日本
+1-877-325-5415	+81 3-4550-8564
欧州・中東・アフリカ	オーストラリア
+44-20-7176-8888	+61 2-9255-9802
アラブ首長国連邦	ラテンアメリカ
+971(0)4-371-7131	+52 55-5081-4515
アジア太平洋	南アフリカ
+86-10-6569-2905	+27-11214-1994

General disclaimer

Copyright © 2021 S&P Dow Jones Indices LLC. All rights reserved. Redistribution, reproduction and/or photocopying in whole or in part are prohibited without written permission. Standard & Poor's and S&P are registered trademarks of Standard & Poor's Financial Services LLC, a division of S&P Global ("S&P"); Dow Jones is a registered trademark of Dow Jones Trademark Holdings LLC ("Dow Jones"); and these trademarks have been licensed for use by S&P Dow Jones Indices LLC. S&P Dow Jones Indices LLC, Dow Jones, S&P and their respective affiliates ("S&P Dow Jones Indices") makes no representation or warranty, express or implied, as to the ability of any index to accurately represent the asset class or market sector that it purports to represent and S&P Dow Jones Indices shall have no liability for any errors, omissions, or interruptions of any index or the data included therein. Past performance of an index is not an indication of future results. This document does not constitute an offer of any services. All information provided by S&P Dow Jones Indices is general in nature and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. S&P Dow Jones Indices receives compensation in connection with licensing its indices to third parties. It is not possible to invest directly in an index. Exposure to an asset class represented by an index may be available through investable instruments offered by third parties that are based on that index. S&P Dow Jones Indices does not sponsor, endorse, sell, promote or manage any investment fund or other investment product or vehicle that seeks to provide an investment return based on the performance of any Index. S&P Dow Jones Indices LLC is not an investment or tax advisor. S&P Dow Jones Indices makes no representation regarding the advisability of investing in any such investment fund or other investment product or vehicle. A tax advisor should be consulted to evaluate the impact of any tax-exempt securities on portfolios and the tax consequences of making any particular investment decision. Credit-related information and other analyses, including ratings, are generally provided by licensors and/or affiliates of S&P Dow Jones Indices, including but not limited to S&P Global's other divisions such as Standard & Poor's Financial Services LLC and S&P Capital IQ LLC. Any credit-related information and other related analyses and statements are opinions as of the date they are expressed and are not statements of fact. S&P Dow Jones Indices LLC is analytically separate and independent from any other analytical department. For more information on any of our indices please visit www.spglobal.com/spdji.